

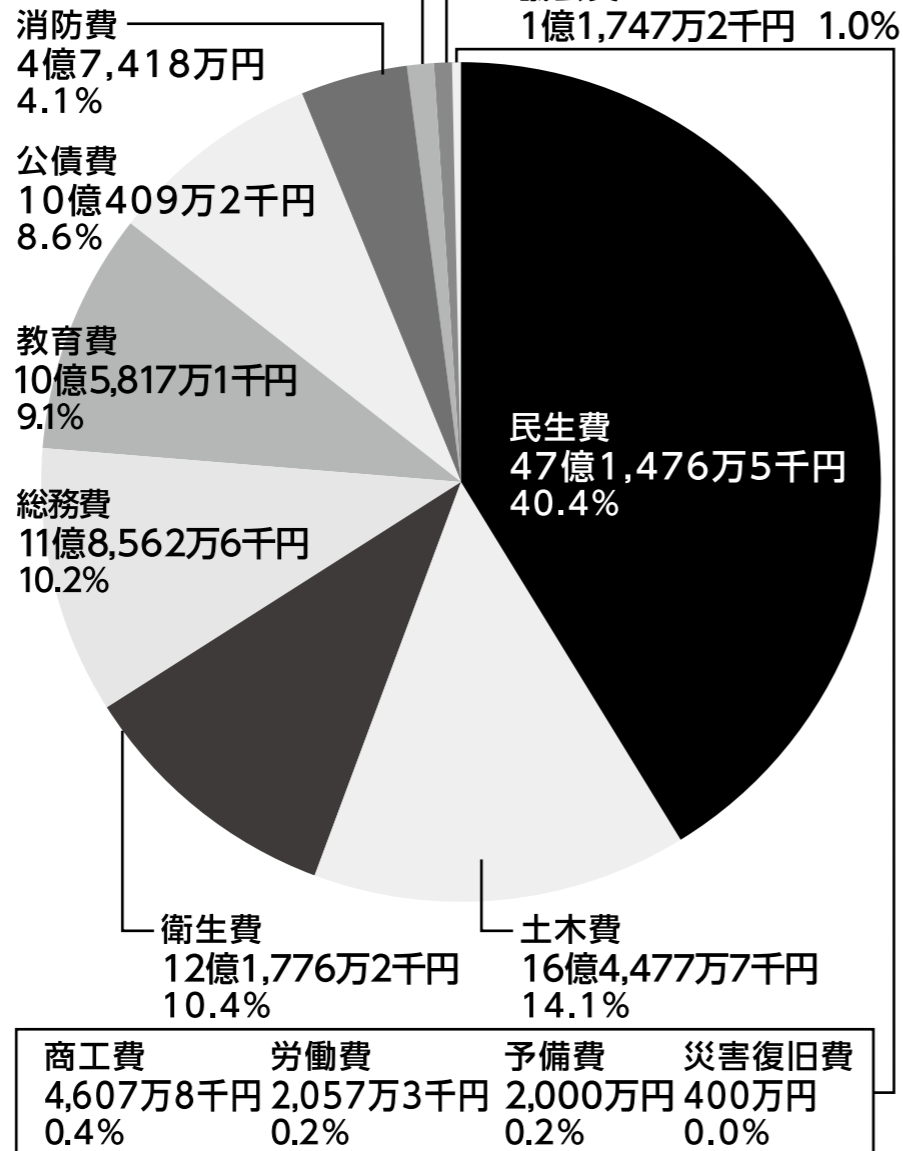
一般会計 116億5,448万5千円の主な事業

総務費 町誌の編さん 1,050万6千円 地域コミュニティへの交付金 5,853万円 役場本庁舎窓口フロア改修 3,881万5千円 100周年事業の推進 388万円	衛生費 各種検診など 4,951万5千円 各種予防接種 9,256万5千円 ごみ処理など 5億5,838万7千円	消防費 第2分団消防車購入 2,419万2千円
民生費 ハピネス号の運行 4,002万6千円 障がい者の福祉 9億9,653万9千円 介護保険事業 4億6,919万2千円 後期高齢者医療 5億3,583万1千円 町内保育園の運営 10億5,248万9千円	労働費・農林水産業費・商工費 しーずみの運営 2,057万3千円 農業の基盤保全 6,225万円 地域の消費喚起事業 1,629万7千円	教育費 外国語教育の充実 784万8千円 教育相談の充実 492万1千円 私立幼稚園への就園に対する補助金 9,068万9千円 町立図書館の運営 2,065万5千円
土木費 道路や橋の維持管理 1億6,067万8千円 志免宇美線の整備 4,000万円 公園トイレ整備など 1億3,700万円 町営住宅の建替 7億145万円	農林水産業費 1億4,699万1千円 1.3%	公債費 町債の償還 10億409万2千円

一般会計 目的別歳出の状況

目的別歳出では、民生費が47億1,476万5千円(前年度比1億2,843万3千円増)で全体の40.4%という高い割合を占めています。民生費の増加の要因は、年々増加している障害児施設給付費や民間保育園運営負担金の増加が挙げられます。

2番目に高い割合を占めているのが、土木費の16億4,477万7千円で、全体の14.1%を占め、民生費と土木費で予算総額の半分以上を占めています。



特別会計(特定の事業を行うために、一般会計と区別して処理する会計です)

会計名(事業名)	平成31年度	平成30年度	比較
国民健康保険特別会計	40億7,469万4千円	43億8,377万9千円	△3億908万5千円
後期高齢者医療特別会計	4億3,477万6千円	4億2,564万8千円	912万8千円
合計	45億947万円	48億942万7千円	△2億9,995万7千円

公営企業会計(自治体でも法律で収益が認められている公営企業の会計です)

上水道事業会計	収益的収支 (水道事業の経営活動に伴い発生する収支)
	収益的収入 7億6,273万1千円
	収益的支出 7億2,692万9千円
	資本的収支 (施設建設などでの収支)
資本的収入 9,595万8千円	
資本的支出 4億588万3千円	
流域関連公共下水道事業会計	収益的収支 (下水道事業の経営活動に伴い発生する収支)
	収益的収入 9億4万9千円
	収益的支出 8億8,647万9千円
	資本的収支 (施設建設などでの収支)
資本的収入 6億5,826万8千円	
資本的支出 9億12万6千円	

平成31年度 宇美町 当初予算

問い合わせ
政策経営課 財政係
☎934-2247

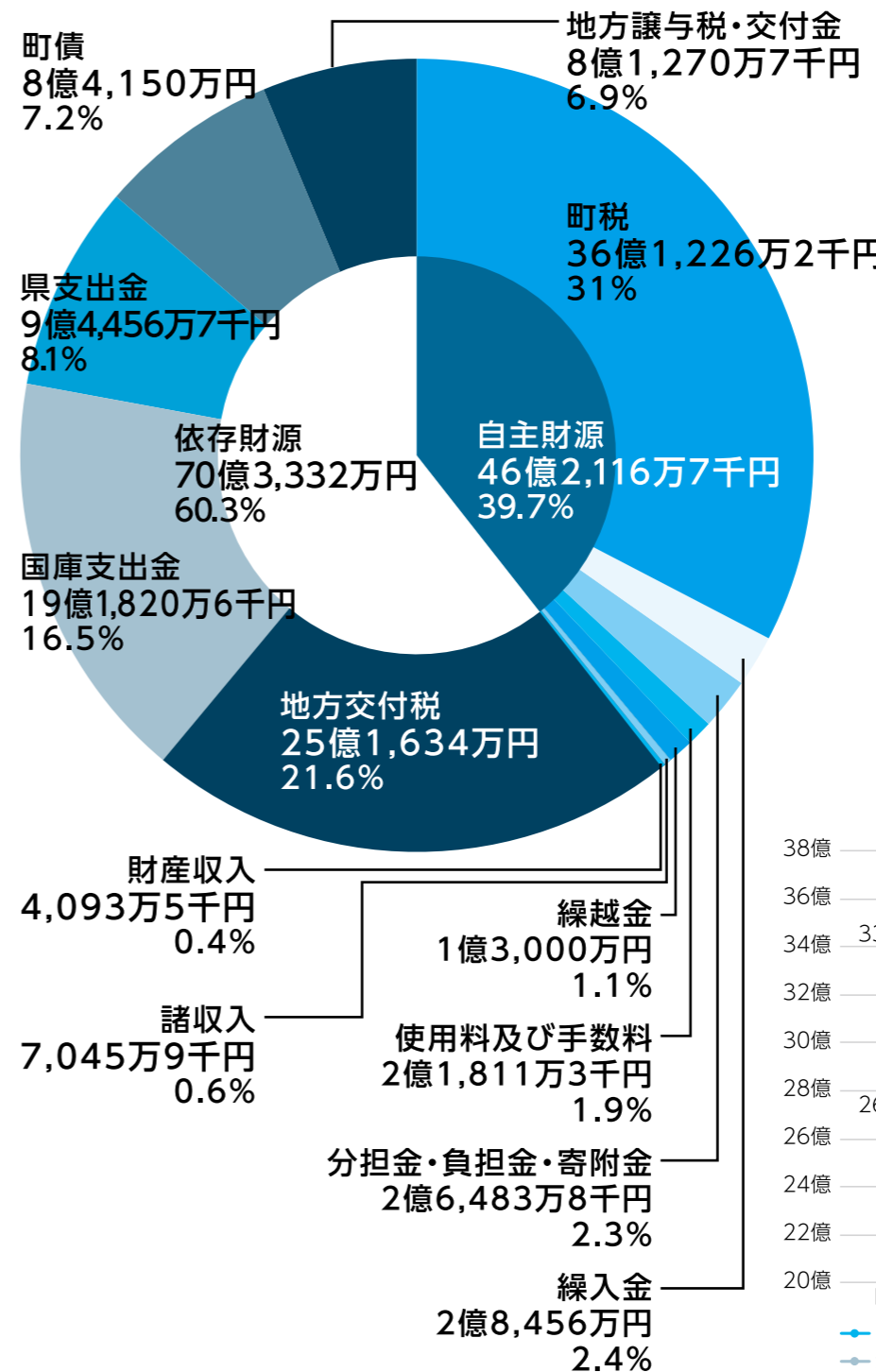
平成31年度の一般会計・特別会計(国保・後期)および公営企業会計(上水道・下水道)の当初予算が、3月20日に町議会の議決を得て成立しました。

一般会計当初予算は、前年度比8億3,321万5千円増の116億5,448万7千円となりました。今年度も「宇美町財政改革推進プラン」に基づき、事業の重点化と徹底的な事務の効率化に取り組みます。

一般会計 歳入の状況

町の主要財源である町税は、町民税などの増加により36億1,226万2千円となり、8年連続で前年度比増となりました。また、地方交付税は前年度比で1億4,868万円増の25億1,634万円となりました。地方交付税が25億円台となるのは平成28年度以来3年ぶりです。

また、町税をはじめとする自主財源は39.7%にとどまり、財源の半分以上は地方交付税、国・県支出金、町債などの依存財源に頼った予算編成となっています。



町税・地方交付税の推移

